

事業評価シート（平成24年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	魅力ある美術展覧会事業(24年度事業名:魅力ある展覧会開催事業)		
事業担当	社会教育部 美術館		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	'02	②<感性> 生涯学習や文化などを通じ、豊かな感性をはぐくむ	
	'02	2 優れた芸術・文化を鑑賞する機会を充実する	
根拠法令等			
対象・受益者	観覧者	事業期間	
委託、協働	【委託: 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働: 】		
	目的・目標		事業の概要
小中学生対象の展覧会や、知名度のある作家や映像作品展等を開催することにより、新たな観客層が増加しています。		国内外の優れた近現代美術作品に接する機会を充実するため、テーマを設定した企画展と所蔵品を活用した特集展を開催します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	企画展・特集展開催回数				単位	回
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標	12	9	9	10		
	実績	9	7	9			
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	企画展・特集展観覧者数				単位	人
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標	80000	82000	82000	85000		
	実績	95049	90129	110853			
成果指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標						
	実績						
進捗状況	①: 予定どおり						
	遅れている理由						
平成24年度の主な取組と成果							
市制80周年記念展「上村松園と鏑木清方」等の企画展3本と特集展で年間9本の展覧会を開催した結果、幅広い年代層の観覧があり、11万人を超える観覧者数となりました。							
平成24年度の検証結果	A: 成果があがった						

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	棟方志功展をはじめ、多様な展覧会を開催していきます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	多くの市民に関心を持たれる展覧会の開催と今後も市民の満足度を高められるよう事業を継続します。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	市民の芸術・文化の振興という目的に合致しています。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	巡回展の開催で経費節減を目指します。 また、コレクターより一括借用することにより経費削減をしています。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析 魅力ある展覧会を行うことにより、リピーターの増加と美術に関心を持つ人の増加をめざす必要があります。 また、文化ゾーン3館のコラボレーション事業の継続をめざします。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 予算額
事業内容		企画展、特集展の開催	企画展、特集展の開催	企画展、特集展の開催	企画展、特集展の開催
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	39,113	41,397	31,731	32,229
	一般財源	0	4,285	5,703	4,640
事業費 (A)		39,113	45,682	37,434	36,869
執行率 (%)		90.92	84.92	92.93	
内訳	職員 (人)	3.05	3.05	3.30	3.40
	再任用 (人)	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費 (B)		25,531	25,054	26,790	27,364
フルコスト (A+B)		64,644	70,736	64,224	64,233

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成26年度の取組方針 公立美術館としての役割に着目しながら、多くの方々に満足していただける展覧会を行います。
課長コメント 文化ゾーン3館のコラボレーション事業の継続に努めます。 また、サポーターズクラブと展覧会関連事業で連携します。